

令和 7 年度 【 学園研究費助成金 < B > 】 研究成果報告書

学部名 情報社会学部

フリガナ ミタ タカアキ
氏 名 見田 隆鑑

研究期間 令和 7 年度

研究課題名 先端技術を通じた地域の文化財の保存・活用に関する研究

研究組織

	氏 名	学 部	職 位
研究代表者	見田隆鑑	情報社会学部	准教授
分担者	栢窪優二	情報社会学部	教授
分担者	鳥居隆司	情報社会学部	教授

1. 本研究開始の背景や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

様々な分野でデジタル化が進められる中、地域の文化財の保存・活用においても、先端技術を活用し、情報の保存を図るとともに、視覚的にもわかりやすい形で情報発信することで文化財の魅力や価値を多くの人に伝えていくことが期待されている。地域の文化財行政においても「文化財保存活用地域計画」の作成が進められ、各地域で文化財の掘り起こしとその整理が行われているが、地域のみで保存・活用を進めることは難しく、研究代表者が専門とする仏教美術も保存・活用以前に十分な調査が実施されていない場合も多い。特に地域の仏像はその魅力や価値が地域の中でも十分に理解されていないことも多い。本研究は、大学と地域の博物館や行政の文化財担当部署が連携して文化財調査を推進するとともに、文化財の魅力を広く発信することを目指すものである。

2. 研究の推進方策 (300 字程度で記述)

本研究では、大学と地域の博物館、あるいは行政の文化財担当部署が連携しながら、地域に伝わる仏像の調査研究および作品についてデジタルデータでの記録を行う。また、作品の魅力を伝える映像記録を制作し、インターネット上に公開することで、地域住民（特に若年層）を中心に地域に伝わる文化財の意義や価値について理解を促すことを目指す。今年度の研究では、これまで実施してこなかった仏像の 3D スキャンによる情報の記録を取り入れることで、現状の姿を立体的なデータで記録し、そのデータを活用したレプリカの制作や教育・研究用の教材の作成を目指す。また、地域の博物館などで、調査の際に取得したデジタルデータや制作した映像記録を展示や教育普及活動に活用することによる地域住民への効果も検証する。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

今年度、実地調査では名古屋市中区の長久寺の仏像調査を実施し、本尊不動明王立像および薬師如来立像について、基礎データの記録及び安置状態での写真撮影を行った。今回の調査から2体は平安時代後期(12世紀末頃)の作品で、市内でも貴重な作例と判断された。寺院には中間報告書を提出した。不動明王立像は、尊像を動かしての調査は行っていないので、台座裏などに過去の修理記録や本像が安置された経緯などが記されている可能性もあり、来年度、改めて本調査を依頼し、調査報告を踏まえた論文を執筆したいと考えている。また、岐阜県関市・法泉寺の木造聖観音菩薩坐像について、映像記録を制作する機会を得ることができた。その撮影に合わせて、観音菩薩坐像を厨子から出して調査する機会も得られ、後世の修理はあるものの、頭体幹部については、平安時代中期頃の作品である可能性を確認することができた。映像記録は、「聖観音菩薩坐像～岐阜・関市 法泉寺～」というタイトルで大学のYouTubeチャンネルで公開し、9月30日の公開から3月上旬までで約1,300回視聴され、これまで公開した作品の中でも比較的多く視聴された。また、調査の際に記録したデータは報告書としてまとめ、法泉寺に提出した。この他、あま市美和歴史民俗資料館の依頼を受けて、個人蔵の円空仏等の仏像群について基礎データの記録と撮影を行い、調査時に記録したデータを同館に提供した。また、大府市歴史民俗資料館と協働で、市内の賢聖院および地藏院で映像記録の制作を実施したほか、大府市歴史民俗資料館では2025年12月5日から同月25日まで「仏像バーチャルミュージアム上映会 大府の寺院のみほとけたち」が開催され、これまでに撮影した大府市仏像シリーズを一堂に上映し、期間中1,165名の入場者があったと報告されている。また、上記の実地調査時にはScaniverseを使った簡易的な3Dスキャンを実施し、そのデータの活用方法を検証した。学内では、EinScanH2を使った3Dスキャンを行い、取得したデータをもとに、今後の調査で3Dスキャナを本格的に実用していく為の準備を行った。

4. キーワード (本研究のキーワードを1項目以上8項目以内で記載)

①先端技術	②文化財	③デジタルアーカイブ	④3Dスキャン
⑤仏像	⑥文化資源	⑦映像記録	⑧地域連携

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

- ・公開した映像記録
「聖観音菩薩坐像～岐阜・関市 法泉寺～」、2025年9月30日公開
https://youtu.be/eWKvXmWSK6g?si=xPUtjvREwZss_W2I
- ・「仏像バーチャルミュージアム上映会 大府の寺院のみほとけたち」
<https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd000000d58y.html>
- ・今後、公開予定の映像記録
「大府市仏像シリーズ 賢聖院」「大府市仏像シリーズ 地藏院」
- ・今後、公開予定の研究成果報告
長久寺の仏像の調査報告については、本調査を実施後、寺院の許可を得た上で、情報社会学部研究紀要にて研究成果を公開する予定である。